

「水引小学校のふるさとを学ぼう郷土調べ学習の取組」

1 学校名

薩摩川内市立水引小学校

2 学年・人数

5・6年生（計46人）

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

令和3年7月9日（金） オリエンテーション：ふるさとコミュニケーション科

令和3年11月11日（木） ふるさとを学ぼう合同調べ学習

令和3年11月～12月 発表資料作成

(2) 発表の日時・場所

令和3年12月9日（木） ふるさとを学ぼう発表会：水引中学校

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 射勝神社（いすぐるじんじゃ）次郎次郎踊
- ・ 船間島古墳（ふなまじまこふん）
- ・ 京泊天主堂跡（きょうどまりてんしゅどうあと）

(2) 特徴

- ・ 射勝神社（いすぐるじんじゃ）次郎次郎踊
三月第一日曜～次郎次郎踊（市無形文化財） 祈年祭に田遊び神事として奉納される。春先に出てくる田や畑の病害虫を参拝者に見立て、焼き尽くす意味を込めた祭で、神事後、氏子がシイの枝で地面をはたき、スズメを追い払う。次に、保存会員の扮する白手ぬぐいの覆面をしたテチョが木鍬とトッゴロ（火のついた丸田）を担ぎ、参拝者を追い回したり、トッゴロをほうり投げたりして暴れ回る。
- ・ 船間島古墳（ふなまじまこふん）
船間島の最頂部に位置する直径17m・高さ2mの円墳。墳頂部に竪穴式石室が露出しており、小屋を設けて保護している。長さ約1.2m・幅約1m・深さ約0.8m、安山岩の板石を使用して構築されており、石室内部や天井石の内側に朱の痕跡が認められる。出土遺物は不明。5世紀頃の築造か。市指定史跡、1971（昭和46）年指定。
- ・ 京泊天主堂跡
京泊に建てられた教会は、ロザリオの聖母にささげられた、ロザリオの聖母聖堂（天主堂）。日本で最初の教会の一つであるといわれている。

5 保存会や地域との連携の具体

オリエンテーションの際に、水引地区から講師をお招きし、地域にまつわる伝統・文化の概要、伝統を引き継ぐ地域の人々の思いについて説明をしていた。また、調べ学習の際には、現地で説明をしていただいたり、文書で質

問の答えを送ってもらったりした。

さらに、発表会にも参観していただき、児童に温かい言葉をいただいた。

6 活用の取組の工夫した点

小中一貫教育の中で、中学校1年生と合同で学習を進めた。5つの地域を3年間で学習できるように計画をしている。事前に保存会の方々に質問内容などを知らせ、例年よりも短時間で説明や調べ学習ができるようにした。

7 取組の様子（研究発表、創作劇等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ 水引コミュニティ協議会の会長さんがわかりやすく説明してくださったので、昔のことを詳しく知ることができてよかった。
- ・ 今まで知らなかったことを知ることができてうれしかった。
- ・ 地域のことについて多くのことを知ったので勉強になった。

【教員】

- ・ 身近な場所にある歴史にふれることで、子供たちは地域についての理解を深めることができた。
- ・ 水引地域には史跡が多く残っており、また歴史上の人物の逸話などがあり、興味深い場所であることを知った。